

## 第3回 北川流域委員会 議事骨子

平成19年11月5日（月）、敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」において第3回北川流域委員会が開催されました。

議事においては、河川管理者より「北川の流域および河川の概要」、ならびに「治水の現状と課題」について説明がなされました。

### 議 事

---

- (1) 流域および河川の概要
- (2) 治水の現状と課題について

### 審議結果

---

審議結果については、つぎのとおりです。

#### (1) 流域および河川の概要

北川の流域面積や流路延長、河床勾配などについて、全国の他の一級水系との比較が示されるとともに、北川流域の降水量などの気候・気象の特徴、土地利用の状況や流域内人口・就業者割合の推移、下流部の特性など、北川の特徴について河川管理者より説明がなされました。

#### 委員からの主な発言

農業の基盤整備や区画整理など、土地利用の変化による洪水の流出時間、流出形態がどのように変化しているかを説明してほしい。

#### (2) 治水の現状と課題について

北川における主な洪水とその被害の状況、堤防の整備状況、浸透による堤防決壊のメカニズム、ならびに近年実施されている堤防の詳細点検結果を踏まえた堤防の安全性の現状について説明がなされ、堤防強化の必要性が示されました。

また、危機管理対策としては、インターネットによる監視カメラ画像や水位情報等の配信状況、提供される防災情報の内容や浸水想定区域図等の公表状況など、洪水時の河川情報の収集・提供体制について河川管理者より説明がなされ、防災情報の活用やわかりやすい防災情報への改善などについて説明されました。

#### 委員からの主な発言

既往洪水の説明においては、計画高水位と痕跡水位での比較ではなく、工事実施基本計画に定められた計画降雨と実際の降雨での比較を行ってほしい。

平成16年台風23号の水位状況を示した縦断図において、計画高水位が三宅頭首工の部分において変化していない理由について説明してほしい。

堤防の詳細点検について、その方法などについて説明してほしい。

台風などの洪水による被害が示されているが、台風時に高潮などの異常潮位が観測されることはあるのか。高潮と洪水が重なった場合の対策についても検討すべきではないか。

ハザードマップについては、事象や地区を限定した場合、浸水実績とは必ずしも整合しないことがある。今後の防災情報の提供に際しては、補足説明の実施など、提供方法についても検討すべきではないか。

(3) 意見・質問の取り扱いについて

流域委員会では、基本方針を踏まえて、河川整備計画の作成、原案等に対する意見をいただくという形となる。

河川整備計画を作成する上で必要な意見については、委員会の場で発言していただきたい。